

2010-11 年度テーマ

国際ロータリー会長：レイ・クリンギンスミス

第 2570 地区ガバナー：西川 武重郎

会長：鯨井 邦男  
幹事：堀越 真

会長エレクト：加藤 睦夫  
副会長：村山 廣道  
副幹事：庄内 邦雄  
SAA：加藤 睦夫  
TEL：048-525-7907 FAX：048-526-2471

URL：http:// www.kuma-west-rc.com/ E-mail：post@kuma-west-rc.com



No.5 第 1604 回 例会 (H22.8.9)

## 2010-2011 年度ガバナー公式訪問



司会 森村 等 SAA  
点鐘 鯨井会長  
ソング 国歌、奉仕の理想

### 会長挨拶

鯨井会長

### 来賓

西川 武重郎 様  
(国際ロータリー2570 地区 ガバナー)

澤田 将信 様  
(第 5 グループガバナー補佐 熊谷南 R C)



本日は西川ガバナー、澤田ガバナー補佐を迎えての公式訪問です。11 時より加藤さん、橋本さん、森村さんを交え和やかな懇談を行うことができました。

一年に一回の機会です。ご指導いただいたことを糧に充実した

ロータリー活動に生かしていきたいと思っております。

西川ガバナーは、地区テーマを幸せな未来を創るために「利他の心で行動しよう」また、経営理念として、「愛と感謝と奉仕」とされております。

これは、人と人、人と地域、地域と地域、と社会を繋ぐ根本的な精神ではないでしょうか。

また、現在社会問題になっている、高齢者の消息不明問題等、殺伐した社会の解決にもつながると思います。

こうした忘れられている、でも、決して忘れてはならない心の豊かさ、についてお話を頂けたらと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。



## 幹事報告

堀越幹事



1. 第 5 グループ職業奉仕部門セミナー開催の打合せ勉強会について  
日時 8月24日(火) 午後 2時～4時  
場所 ベルヴィアイトピア

2. 第 11 回埼玉県児童福祉施設親善球技大会への協賛のお願い

日時 8月25日(水) 9時～16時  
場所 行田市総合公園自由広場  
児童養護施設 17施設の参加です。

西川ガバナー公式訪問有難うございます。ご指導の程、宜しくお願ひ申し上げます。澤田ガバナー補佐、先週に続きご教授よろしくお願ひいたします。

- 野中 治己さん //
- 田代 充雄さん //
- 加藤 陸夫さん //
- 浅井 純次さん //
- 橋本 篤史さん //
- 加藤 恭保さん //

## 委員会報告



森村 等さん

みなさんこんにちは！ 本日は西川ガバナー、澤田ガバナー補佐、当クラブにお越しいただきありがとうございます。ご指導の程よろしくお願ひいたします。

吉田 正己さん 前回お休みしてすみませんでした。

## 出席報告

加藤 恭保委員

例会日	総数	出席免除	欠席者	出席率	メークアップ
8/9	21	6 (4)	4	89.47%	2

## ニコニコBOX委員会

ニコニコボックス抛金報告

加藤 恭保委員

例会日		件数	金額
8/9	本日の報告	13件	15,000円
	本年度累計	52件	80,000円

## 親睦委員会

誕生日

吉田 正己さん  
昭和 45 年 8 月 7 日



鯨井 邦雄さん

西川ガバナー、澤田ガバナー補佐本日は熊谷西ロータリークラブへようこそ。ご指導宜しくお願ひ申し上げます。

堀越 真さん //

森 弘一さん

西川ガバナーのご訪問心から歓迎申し上げます。よろしくお願ひいたします。

早川 清治さん

西川ガバナー、澤田ガバナー補佐、当クラブ公式訪問ご苦勞さまです。宜しくご指導お願ひいたします。  
古屋 一生さん

## ロータリー研修報告

古屋 一生委員



## 『卓話』 国際ロータリー2570地区ガバナー 西川 武重郎 様



人間は二十世紀の百年間、豊かさと便利さを求めて努力してきました。確かに物の豊かさと便利さは手に入れることができました。しかし、それを手に入れるために、私たちは自然を破壊してきました。

今はまさに大きな変革の時代だと思います。いかに自然と共有する社会を創ることができるかを私たちは問われています。豊かさと便利さを求める過程で、物の豊かさのみを追求し、一番大切な心の豊かさを求めることを忘れてしまった。そのような私たちの生き方を改めるときが来たのではないのでしょうか。人と人の絆の薄い殺伐とした社会ができてしまったのは、心の豊かさを求める努力を怠った結果ではないのでしょうか。最近でも高齢者の生存不明のニュースが流れています。とても考えられないことが起こっています。このような時代の中でR I会長レイ・クリンギンスミス氏は、私たちに「地域を育み、大陸をつなぐ」というテーマを示されました。

そして、ロータリーの指名は地域社会を動かすことだ。そのために共通の目的に向かって結束し、奉仕活動に時間と才能を捧げ、労力を捧げる覚悟が必要だ。世界の子供たちの育成のために、そして、ポリオ撲滅のために、世界をより良いものにするために、ロータリー以外のより大きな力はあるだろうか？ 我々はロータリーの責務を高める覚悟がある。奉仕活動と才能と労力を捧げる覚悟が我々にあるならば、世界は必ず変えられる。「Yes, we can」だと私たちに語りかけられました。

その語りかけを受け、私たちは何を成すべきかを考えてみようと思うのです。

私たちはすでに、クラブごとに地域社会に奉仕をする活動を行っています。そのことはもちろん大切なことですが、R I会長レイ・クリンギンスミス氏が私たちに求めていることは、それだけでなく、私たちロータリアン一人一人が何を成すべきかを改めて考えることのように思えるのです。

そこで私は、ポールハリスの心をしっかり勉強し、原点に帰って「ロータリーの心」とは何かを自分自身に問い直してみようと思います。

ポールハリスが日本に来た時に「あなたは何故ロータリーを始めたのですか」と質問され、「寂しかったから」と答えたという有名な話があります。また、ポールハリスの回顧録「My road to rotary」の中に、「ロータリーがより寛容で、より他の人の良さを認め、より他の人と親しく交わり助け合うようにしてくれるなら、そして人生の美しさと歓びを発散し伝えようとしてくれるなら、それが我々が求めるロータリーの全てである」と書かれています。

いまロータリーの会員が減少しつつあります。その原因の一つに人間関係のもつれがありますが、このポールハリスの心をしっかり掴んでいれば人間関係のトラブルなど起こらないと思うと残念でなりません。

現代社会は人の心に豊かさを見失い、人と人の絆の薄い殺伐とした社会になっています。このような社会であるからこそ、自己中心的な考え方とは対極にある、人のために役立ちたい、そのために奉仕するのだという「ロータリーの心」が大切になってくるのではないのでしょうか。

誰もが幸せになりたいと思っています。しかし、自分さえ良ければという利己的な考え方で本当の幸せは掴めるのでしょうか。絶対に掴めないと思います。人としての本当の豊かさ、本当の幸せを掴むためには「ロータリーの心」である、人のために役立ちたいと思う「利他の心」で生きることだと私は信じたいのです。

そこで私の年度のテーマを幸せな未来を創るために「利他の心で行動しよう」と決めさせていただきました。

## クラブ協議会

クラブ奉仕委員会  
米山奨学委員会

加藤 睦夫委員  
加藤 睦夫委員



社会奉仕委員会

浅井 純次委員



ロータリー研修委員会

早川 清治委員



国際奉仕委員会

加藤 恭保委員



親睦委員会  
職業奉仕委員会

田代 充雄委員  
田代 充雄委員



ロータリー財団委員会

野中 治己委員



雑誌・広告・IT・プログラム・クラブ会報委員会  
庄内 邦雄委員

